

県立安積高校の SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 事業

エッセン市のウルフスクール学校との
オンライン交流プログラムの
キックオフイベントを開催します



ターゲット 4.7



ターゲット 17.17

令和3年9月16日

郡山市産業観光部産業創出課

担当: 渡辺 洋平 TEL: 924-2271

福島県立安積高等学校

担当: 対馬 俊晴 TEL: 922-4310

SDGs ターゲット 4.7 「2030 年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。」

SDGs ターゲット 17.17 「さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。」

県立安積高校の SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 事業において実施する、エッセン市のウルフスクール学校とのオンライン交流プログラムのキックオフイベントを開催します。

- 1 日時 9月22日(水) 午後4時～午後5時30分
- 2 場所 市役所 特別会議室 (本庁舎2階)
- 3 内容 県立安積高校1・2年生の代表生徒約10名とウルフスクール学校グリーンクラブの生徒約15名のオンライン交流会、令和3年10月～令和4年1月に行われるオンライン交流プログラムに向けた生徒間の顔合わせと意見交換
 - (1) 県立安積高校の紹介
 - (2) ウルフスクール学校の紹介
 - (3) 生徒間の自己紹介と意見交換

<オンライン交流の経緯>

県立安積高校が令和元年度から令和5年度までの5年間にわたり指定を受けている第2期 SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 事業において、昨年度に続き、オンラインでのワークショップやグループディスカッションにより日独生徒間の交流を深めます。

これまでの産業分野における連携に加え、令和元年9月にエッセン市と郡山市により取り交わされた「教育」と「次世代の人材育成」における都市間協力の合意書に基づき、昨年度エッセン市におけるパートナー学校が決定し、SDGs をテーマとしたオンライン交流プログラムを実施しています。

昨年度は両校の生徒23名が7グループに分かれ、SDGsの各ゴールを1つ選択し、グループワークとディスカッションにより、そのゴールの達成に貢献する共同プロジェクトを企画し、それらを報告会において発表しました。駐日ドイツ大使館や在デュッセルドルフ日本国総領事館から講評をいただきました。



昨年度の報告会の様子



オンライン交流の様子



駐日ドイツ大使館の SNS で紹介いただきました。

<ウルフスケーレ学校グリーンクラブ>

- ウルフスケーレ学校は 1968 年創立のエッセン市が運営するギムナジウム（ドイツの中等教育機関、中高一貫校）で、5-12 学年（日本の小学 5 年生から高校 3 年生まで）の生徒約 950 名が在籍しています。
- 自然科学等、科学・技術教育（MINT 教育）、英語でのバイリンガル教育等に力を入れています。
- 同校グリーンクラブは生徒により創立・運営されている学生企業で、フェアトレード製品やサステナブルな衣服のオンラインストア等での販売、太陽光発電プロジェクト等、学校生活や地域の持続可能性を高めるプロジェクトに取り組んでいます。
- ドイツの青少年や子ども向けテレビ放送のチャンネルである KIKA の KIKA アワード 2020 の環境アワード受賞、German Child & Youth Award 2021 にノミネートされる等、高い評価を得ています。



昨年度のグリーンクラブの参加者



ドイツのオンライン交流の様子



2021 年 3 月にオンライン配信されたエッセン市主催「福島の春：東日本大震災 10 周年復興支援コンサート」に合わせ、グリーンクラブが作成したロゴマーク